



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

朝夕に菊の香がしみる11月となりました。

残菊が晩秋の残照に照らされています。

菊の別名は霜見草、霜が降りるころ咲くことに由来します。

肌寒さが寒さに代わる時季の到来です。

皆様には、どうぞ、御身お大切になさってください。



<紙面から>

| | |
|-----------------------|--------|
| はなみずき祭り | … 1ページ |
| サービス提供責任者研修 デイサービス外食会 | |
| 生活支援員研修 | … 2ページ |
| みどりの輪 支え合いサポーター研修 | … 3ページ |
| お知らせ リレーコラム | … 4ページ |

恒例 北町高齢者センター はなみずき祭り

10月15日、清澄な青空に恵まれた土曜日、恒例のはなみずき祭りを開催しました。昭和62年10月10日のセンター開設記念式典当日も、このように明るい秋空が広がっていましたが、その日を思い出させる秋麗の一日でした。

今年は創業時にならって、地域の方々にセンターを知って頂く、オープンハウスとして開催しました。ボランティアの皆様のお熱心な広報活動の賜物で、昨年を遥かに上回る126名の一般のお客様がお越し下さり、総計では

214名のご参加でした。

多彩なおもてなしメニューもご用意しました。ご利用者とボランティア手作りの定評ある手芸・粘土作品や新古品のバザー、地元野菜の販売。

食のコーナーでは、名物の焼き団子にドライカレー、ぶどうゼリー、玉こんにゃく、お馴染みの北町クッキー、ボランティア手作りスモークチーズなど、どれもが大好評でした。この他、子どもたちは染め物、粘土の小物

作りの創作体験に真剣に取り組み、輪投げコーナーでは、係の土曜

通所のご利用者と一緒に交流し、バルーンアートやカブト虫の幼虫に興味津々。

「みんながいて やすらぎ育む 北町高齢者センター」のキャッチフレーズ通り、和気あいあいと、共に楽しむ北町らしいアットホームな雰囲気にご来場者の笑顔が輝きました。あるお客様は、「山崎先生にお世話になったのだけど、今まで一度も来たことがなかったの。これからは、何かお役に立ちたいわ」と仰っていました。

たくさんのバルーンアートを手にしたベビーカーの坊ちゃんは「こんなにもらっちゃった」と、ご満悦の様子。北町に長く住んでいるのに初めて足を運んだと言う70歳台の女性は、「どうしたら利用できるのかしら」と職員にお尋ねでした。

これからも、地域密着の施設として、多くのボランティアの皆様と手をたずさえ、市民生活の延長線としてのセンターらしい福祉サービスを提供いたします。



サービス提供責任者 研修



ホームヘルプセンター武蔵野が、浴風会ケアスクール・服部安子校長を招いて、10月27日に「サービス提供責任者(*)のリーダーシップについて」の実務研修を実施しました。

研修は座学やロール・プレイング、グループワークなどを内容とし、市内の訪問介護事業所に所属する30名が参加しました。要介護者と介護者の関係は6類型に分類されること、理想は、相互に相手を尊重する個人同士の人間関係、言葉一つで変わる人間関係の厳しさ、そしてリーダーの究極の役割は、「人を育てること」等を学びました。

受講者からは「ヘルパーに事業所の理念を伝え、みんなで目標に向かって頑張りたい」「人を育てたい」「対人援助の原則を実践する」「研修を通じて自分自身を客観的に見られた」などの感想を頂きました。ふだんの業務で、大変なことや困っていることなどを、事業所の垣根を超えて、率直に話し合えたことも有意義でした。

ホームヘルプセンター武蔵野は、これからもケアサービスの向上のために、力を尽くします。

*サービス提供責任者：訪問介護のプランニング、ケア業務の指示やヘルパーの指導・育成を担う専門職



高齢者総合センター デイサービス 秋の外食会



10月19日から21日の3日間、春の外食会で好評だった和食店「弥左衛門」に行きました。

ご利用者36名、ボランティアさん9名がご参加でした。

今回はこのお店のみに絞り、ご利用者にご希望の日を選んで頂いたので、「私は、いつ、どこに行くのかしら?」といったご心配が減りました。来年度は、ご利用者のご希望を伺いながら、新しいお店を開拓します。また、ご家族2名とご一緒し、親しく交流できて、嬉しく存じました。

店長さんから「活き鰻を当店でさばいて秘伝のタレで焼きました。肝吸いは鰹節を削ってから出汁をとったものです」と説明があり、丁寧な仕事に「ほおー」と声があがりました。ふっくらと美味しい鰻でした。今月で100歳のSさんのクイズもしました。

「お勤めはどこ?」「何売場?」「お客の高峰三枝子に言われた言葉は?」という三つの質問で、答えは「日本橋高島屋」「フランス人形売り場」「女優になりませんか」です。

「さすがはモガ(モダンガール)!!」とやんやの大喝采、感心しきりのひと時でした。

ハッピーバースデーを全員で合唱しお祝いしました。

次回、春もお楽しみに。



地域福祉権利擁護事業 生活支援員養成研修 ～市民が担う権利擁護～

10月13日から3日間、権利擁護センターが研修を実施しました。新任の5名が受講し、現任支援員3名も聴講しました。

生活支援員の主たる業務は、高齢者や障害者の日常生活の手続き・金銭管理を支援することです。

受講者は、武蔵野の福祉、事業内容、成年後見など関連分野の基礎知識等を学び、権利擁護的視座からの対人援助技術について、ロール・プレイングを交えて真摯に取り組みました。

「本人意思」、「自己決定」、「価値観の理解」…ご利用者の自立生活を支える、援助者の持つべき理念をも醸成する研修でした。

今後とも、権利擁護センターは、「市民力」と協働してご利用者を支え、その日常生活を護るため前進します。



照井秀子講師による対人援助技術



家族介護支援教室 みどりの輪 ～知って得する排泄のはなし～



質の高い自立した生活を送るうえで、排泄のコントロールは最重要です。排泄は人の尊厳にも大きく関わります。

また、要介護状況となっても排泄が自立していれば、介護負担は大きく軽減されます。そこで、9月23日には、この課題をイロハから分かりやすく学びました。

同日開催された高齢者総合センターのコミュニティカフェから続いて18名の方にご参加いただきました。

講師はその道のエキスパートである補助器具センターの牧野美奈子専門相談員です。

お話の内容は、

- ① 排泄日記を付けることで自分の状態を把握し受診の参考にする。
- ② お通じは毎日あることよりも、「どのような状態か」が重要である。
- ③ 計尿のできる身近な道具の紹介



など、実践的で容易に取り組める具体的な方法の提案等でした。

排泄の悩みは、極めてプライベートで、親族や友人間でも相談しにくいものです。

お一人で悩まず、是非、補助器具センターにご連絡ください。

共に改善策を見出し、より快適な自立生活を作り上げましょう。



連絡先 高齢者総合センター補助器具センター ☎ 51-1974 (予約制)

なお、次回の**みどりの輪**は11月25日(金)13時30分から開催されます。

内容は、ケアワークラボ・山本かの子講師により、実践的で具体的な「自宅で出来る清拭」について学ぶ予定です。

シニア支え合いポイント制度説明会・研修会 開催



高齢者施設等の業務をサポートする地域人材の育成が始まりました。

65歳以上のお元気な市民の方々が、一定の研修を受講後に「シニア支え合いサポーター」として高齢者福祉等の施設、現場で活躍するシステムです。

これにより担い手であるサポーターの介護予防や健康寿命の延伸を図り、更に福祉人材の裾野の拡大を目指します。



講義

高齢者福祉に市民力を導入する新たな試みでもあります。

その説明会・研修会が、高齢者総合センター等で9月15日から6回実施され、10月26日現在では、こころざし高い119名の皆様が、シニア支え合いサポーターに登録されました。

サポーターに登録するためには、研修会への参加が必要で、次回の説明会・研修会は12月12日(月)、15日(木)に高齢者総合センターで開催されます。

研修会の内容は、制度の概要や高齢者福祉サービスの実際、ご利用者への接し方、活動マナー等の講義、車いす介助の実技です。老いじたくの一環としても、予め福祉について学ぶことは重要です。その研修には、補助器具センターの実務経験豊富な作業療法士が、障害者福祉センターのリハビリ専門職と共に講師として協力しています。

活動には一定のポイントが付与され、市民社協への寄付やギフト券に交換できます。それ以上に大切なことは、「まちぐるみの支え合い」の先駆者として、他者に貢献しつつ、ご自身の生活も活性化されることです。



車いす実習の様子

どうぞよろしくお願ひいたします。

お問い合わせ先 健康福祉部地域支援課 ☎ 60-1941



会社からのお知らせ

エンディングノートの書き方講座

日時 11月18日(金) 13時30分から15時
12月6日(火) 13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室

老いじたく・成年後見相談会

日時 11月28日(月) 13時30分から16時30分
場所 高齢者総合センター4階研修室

老いじたくの基礎知識講座

日時 11月30日(水) 13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室

問合せ・申込 権利擁護センター ☎23-1165

ケアリンピック武蔵野2016開催

11月26日(土) 10時から18時
スイングホール、市民会館で「ケアリンピック武蔵野2016」が開催されます。福祉公



社も実行委員に名を連ね、ブース展示、事例発表を行います。市民会館の「家族介護者の集い」では相談会も開催。ぜひご来場ください。詳細はチラシをご参照ください。

職員リレーコラム

第30回

《終生お守りします》

在宅サービス課居宅支援係 松村 明子

公社に入職してから10年を超えましたが、まだソーシャルワーカーになりたての頃にお目に係ったご利用者のお言葉が、今でも心に残っています。

そのご利用者は認知症が進んでいて、ご本人もご自分の状態を理解していました。

ある日、「お願いがある」と真剣な眼差しを私に向け、「私があなただを忘れても、あなたは私を忘れないで。最後まで守ってね」とおっしゃいました。その約束をずっと守ることが出来るのは、有償在宅福祉サービスのご利用者だったからです。

現在は私の担当業務が変わったため、直接担当することは出来ませんが、ご様子を伺うことは出来ます。有償在宅福祉サービスは来年3月に終了しますが、ソーシャルワーカーとしてこのサービスを担ったことは、ワーカー冥利に尽きると思っています。 → 次回は 総務課 白須 和恵



編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成28年12月9日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165

(総務課、在宅サービス課 権利擁護センター・居宅支援係)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>